令和２年度　福島県立聴覚支援学校・福島校 経営・運営ビジョン



学校教育目標

1　言語力を高め、伝え合うことができる人
2　自ら学び続ける人
3　できることに気付き、進んで取り組む人
4　心豊かで健やかな人

学校経営方針・今年度の目標　「学力・言語力、そして生きる力を育む」

Ⅰ－1　私たちは、本県特別支援教育の基本理念である「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進するため、関係機関と連携しながら、「個別の教育支援計画」を活用した切れ目のない支援体制の構築に努めるとともに、一人一人が自立し社会参加するための資質向上に努めます。

Ⅰ－2　私たちは、新学習指導要領や「頑張る学校応援プラン」に基づき、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り、幼児児童生徒一人一人の学力の向上と豊かな心の育成に努めます。

Ⅰ－3　私たちは、「校長及び教員としての資質向上に関する指標」を踏まえ、特別支援教育、特に聴覚障がい教育の専門性をより一層高め、幼児児童生徒一人一人の状態等に応じて、音声、文字、手話等のコミュニケーション手段を適切に活用し、言語力（言語活動を通して、言葉の意味を理解し主体的に思考する力）の育成に努めます。

Ⅱ　私たちは、健康や安全に配慮した教育環境の整備に努め、事故やいじめを未然に防ぐとともに、自己指導能力を育て、幼児児童生徒が心身ともに健康的で安心できる学校づくりに努めます。

Ⅲ　私たちは、医療や福祉等の関係機関と本分校の地域支援センターが連携し、地域において聴覚支援学校の専門性を活かした切れ目のない支援を行い、センター的機能の充実に努めます。

校長　小檜山宗浩

今年度の取り組み　●学習指導：主体的に思考する力の育成　●生活指導：自ら考えて行動する力の育成

Ⅰ－1 自立と社会参加に向けた指導の充実

1　地域の資源を活用した体験的な学習を積み重ね、様々な人とかかわる力を育てるために、個別の指導計画を活用し、指導の充実に努めます。（教務部）
2　主体的にかかわり合い、社会性を育てるために、地域の保育園や小学校及び居住地校と合理的配慮について共有し、交流及び共同学習を推進します。（教務部）
3　多くの本とふれ合う機会を設けるなど、読書に親しみ、書いて表現する力の育成に努めます。（各学部）

Ⅰ－2 主体的に思考する力と豊かな心の育成

1　「個別の教育支援計画」並びに「個別の指導計画」を活用し、幼児児童の目指す姿を明確にして主体的・対話的で深い学びの視点を生かした授業改善を推進し、授業の充実に努めます。（教務部・研修部）
2　人とのかかわりの中でやりとりする経験を重ね、適切に状況を捉えて相手の考えや思いを理解し、主体的に考え行動する力を育てるために、幼児児童の目指す姿や課題、手だてについての共通理解を図り、指導場面の効果的な設定や教材・教具の工夫を行い、指導の充実に努めます。（指導部）

Ⅰ－3 一人一人の実態を踏まえた言語力の育成

2　外部専門家の招聘や外部の研修会等に積極的に参加し、校内専門研修の充実を図り、教員の専門性向上に努めます。（研修部、地域支援センター）
3　関係機関等と連携しながら、ケース検討会を行い、幼児児童の言語力を育てます。（地域支援センター）

Ⅱ 安全で安心な学校づくり

1　特別活動等での指導や道徳教育を充実させ、いじめの未然防止に努めます。（指導部・いじめ対策委員会）
2　校舎内外の安全点検を定期的に実施するとともに、安心して学び生活できる学習環境作りに努めます。（保健安全部・防災委員会）
3　災害発生時の安全に対する意識を高め、自ら考え安全に行動できる力を育てるために、避難訓練や、防災教育・放射線教育等日々の指導の充実を図ります。（教務部、防災委員会）
4　新型コロナウイルス感染症などの感染症予防対策に努めます。（保健安全部）

Ⅲ センター的機能の充実

1　聴覚障がい教育の専門機関として、聴覚障がいに関する情報発信と地域のニーズに応じた学習の機会を支援します。
2　医療や保健福祉、教育機関等と連携しながら、0歳児からの教育相談を行います。
3　本分校や関係機関と連携しながら、聴覚障がい教育の専門性を生かし、保育所・幼稚園・小中学校等への支援を行います。（地域支援センター）



学校の情報を積極的に発信しています。
こちらからホームページがご覧になれます。
http:www.fukushima-sd-fukushima.fks.ed.jp/